

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名（分野名）	社会学 教室
課程	博士 前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	言語科目（英語）
出題の意図	I. 社会学分野の文献を読むために必要な英語の力を問う問題である。 II. 社会学分野の文献を読むために必要な英語の力を問う問題である。 III. 社会学分野の文献を読むために必要な英語の力を問う問題である。 IV. 社会学分野の文献を読むために必要な英語の力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

大学院人文科学研究科社会学分野 博士前期課程

2025（令和 7）年度入学者選抜 試験問題

2025 年 2 月実施

言語科目（英語）

受験生は、下記の注意事項をよく読んで解答せよ。

1. 問題は I～IV の 4 題である。

I、II、III、IV の各問題ごとに、答案用紙を 1 枚ずつ用いて解答せよ。

（答案用紙の枚数は、受験生 1 人について計 4 枚である）

2. 答案用紙ごとに、必ず、受験番号と氏名を記入せよ。

3. 答案用紙はウラ面を用いてもよい。ただしウラ面を用いた場合はオモテ面にその旨を記せ。

4. 監督員の指示があるまで、問題を開いてはならない。

I 次の英文を読み、下の問いに答えなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務系の窓口で閲覧してください。

※出典 Tonja R. Conerly, Kathleen Holmes, Asha Lal Tamang, Jennifer Hensley, Jennifer L. Trost, Pamela Alcasey, Kate McGonigal, Heather Griffiths, Nathan Keirns, Eric Strayer, Tommy Sadler, Susan Cody-Rydzewski, Gail Scaramuzzo, Sally Vyain, Jeff Bry, and Faye Jones, 2024, *Introduction to Sociology 3e*, Openstax, Rice University.
(2024 年 12 月 1 日取得, <https://openstax.org/details/books/introduction-sociology-3e>)
ただし出題の都合、一部を改変している。

- 問 1 下線部①primary data はどのようなものであるか、具体例を自分で考え、それをあげながら説明しなさい。
- 問 2 下線部②を日本語に訳しなさい。
- 問 3 下線部③を日本語に訳しなさい。
- 問 4 field research において、下線部③の理由を著者はどのように考えているか、日本語で説明しなさい。

II 以下の英文を読んで問題に答えなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

(出典：Weisshaar, K., Chavez, K., & Hutt, T. (2024). Hiring Discrimination Under Pressures to Diversify: Gender, Race, and Diversity Commodification across Job Transitions in Software Engineering. *American Sociological Review*, 89(3), 584-613.
出題の都合で変更した箇所がある)

- (1) 【A】を和訳しなさい。
- (2) 【B】を和訳しなさい。
- (3) 筆者らは【C】では何が欠落していると考えているか、日本語で説明しなさい。

Ⅲ

次の英文を読み、下の問いに日本語で答えよ。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典：Teaford, Jon C., 2011, "Suburbia and Post-suburbia: A Brief History," Phelps, Nicholas A. and Fulong Wu ed., *International Perspectives on Suburbanization: A Post-Suburban World?*, Palgrave Macmillan, 28-29.

問 1 下線部①はどのようなものを指しているか、文中の言葉を用いて説明せよ。

問 2 下線部②を日本語に翻訳せよ。

IV 次の英文を読み、下の問いに答えなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典 : Talcott Parsons, 1970, "Theory in the Humanities and Sociology," *Daedalus*, Vol. 99, No. 2: 495-496.

問 1 下線部①を日本語に訳しなさい。

問 2 下線部②を日本語に訳しなさい。

問 3 下線部③を、文頭の It の指示内容が明確になるように日本語に訳しなさい。

2025年度 東京都立大学大学院 人文科学研究科 入学試験 (2月入試)	
教室名(分野名)	社会学 教室
課程	博士 前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生(留学生)
試験科目名	専門分野基礎知識
出題の意図	I. 社会学の理論と方法についての知識と理解を問う問題である。 II. 社会学の理論と方法についての知識と理解を問う問題である。 III. 社会学的知見からデータ・資料を読む力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

大学院人文科学研究科社会学分野 博士前期課程

2025（令和7）年度入学者選抜 試験問題

2025 年 2 月実施

専門分野基礎知識

受験生は、下記の注意事項をよく読んで解答せよ。

1. 問題は I～III の 3 題である。

I、II、III の各問題ごとに、答案用紙を 1 枚ずつ用いて解答せよ。

（答案用紙の枚数は、受験生 1 人について計 3 枚である）

2. 答案用紙ごとに、必ず、受験番号と氏名を記入せよ。

3. 答案用紙はウラ面を用いてもよい。ただしウラ面を用いた場合はオモテ面にその旨を記せ。

4. 監督員の指示があるまで、問題を開いてはならない。

Ⅰ 人名欄にある社会学者は用語欄に載せてある用語のいずれかについて論じました。どの人がどの用語をどのように論じたのかを説明してください。

人名欄 「エミール・デュルケーム、高田保馬、九鬼周造、タルコット・パーソンズ、ロバート・キング・マートン、マックス・ヴェーバー、イマニエル・ウォーラステイン、有賀喜左衛門、ソースタイン・ヴェブレン、ウルリッヒ・ベック」

用語欄 「理解社会学、リスク社会、世界システム論、第三史観、家族と家、中範囲の理論、いきの構造、誇示的消費、構造機能主義、アノミー」

注：マックス・ヴェーバー (Max Weber) はマックス・ウェーバーと表記されることもある。

II (1) から (5) は調査方法の名称です。それぞれの調査方法はどのようにして対象を調べる方法であるのかを説明してください。

(1) 悉皆調査

(2) パネル調査

～ (3) コーホート調査

(4) 国勢調査のオーダーメード集計

(5) インタビュー調査

III

以下の表は、SSM調査（社会階層と社会移動全国調査）の経年データにもとづく分析結果である。これらに関して、以下の問いに答えなさい。

表1 職業階層別の再生産のオッズ比の推移（男性有職者）

著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務系の窓口で閲覧してください。

出典：内藤準（2018）「職業構造の変化のなかでの社会階層の再生産」『成蹊大学文学部紀要』53号。

著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務系の窓口で閲覧してください。

図1 出身階層別にみた非正規雇用到達率の推移

出典：同上

問 1

表 1 は、日本における職業階層（SSM 8 分類）別の再生産のオッズ比[※]の推移を示したものである。ここでの再生産は、子が父親と同じ職業分類に属することを意味する。表 1 から読み解ける趨勢について、「社会移動」という言葉を使用しながら、200 字から 400 字程度で説明しなさい。

[※]オッズ比は、父親が X である場合の本人の X のなりやすさ（A）と、父親が X ではない場合の本人の X のなりやすさ（B）の比であり、表の値はそれぞれの職業階層において A が B の何倍であることを示している。

問 2

図 1 は、日本における男性有職者（50 歳以下）の出身階層（父親の職業分類）別の非正規雇用到達率（本人が非正規雇用属する割合）の推移を示したものである。図 1 から読み解ける趨勢について、表 1 で明らかになった結果と比較しながら、200 字～400 字程度で説明しなさい。

2025年度 東京都立大学大学院 人文科学研究科 入学試験 (2月入試)	
教室名(分野名)	社会学 教室
課程	博士 前期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生(留学生)
試験科目名	論文
出題の意図	自身のこれまでの研究をふまえ、博士前期課程入学後の研究テーマ・計画を適切に立案・表現する能力を問う課題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

大学院人文科学研究科社会学分野 博士前期課程

2025（令和 7）年度入学者選抜 試験問題

2025 年 2 月実施

論文

受験生は、下記の注意事項をよく読んで解答せよ。

-
1. 答案用紙に、必ず、受験番号と氏名を記入せよ。
 2. 監督員の指示があるまで、問題を開いてはならない。
 3. 解答は答案用紙の両面 1 枚以内にまとめよ。ただしウラ面を用いた場合はオモテ面にその旨を記せ。

大学院入学後に行う自身の研究テーマを、以下の事柄に触れつつ論じてください。

- 1) 自身のこれまでの研究（卒業論文を書いたことがある人は卒業論文を、卒業論文を課せられていない大学出身者は大学時代に自分で調べたこと）の説明。
 - 2) 自身の研究テーマを研究したいと考えた動機。
 - 3) 自身の研究テーマに関する先行研究。
-
- 4) どのような方法を用いて研究するのか。